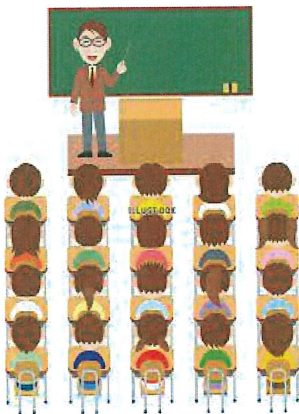


# おーぷん

社会福祉法人さざんか会法人広報誌『おーぷん第87号 2021 秋』  
 発行：さざんか会法人本部/船橋市行田 2-8-1/☎047-404-1135  
 編集：おーぷん編集委員会/けいよう/船橋市二和西 5-10-1/☎047-411-8177

昭和24年生まれの私は団塊世代に属し、この国の年齢別人口では最多の人数のようです。確かに同世代は大勢居ました。例えば、小学校は各学年9組ほどありましたが、それも一学級50名以上の過密状態でした。中学校も一学年16学級程度で、小中ともに全校生徒数は2000人超でした。教職員数も半端では済みません。新卒、出来立てほやほやの先生が大勢教壇に立っていました。



もちろん中堅、ベテラン先生も大勢いました。後者の方々の多くを、私の親世代の先生が占めていました。

敗戦から10年経た頃に、ピカピカの一年生になりました。戦後の教育、その初期に学ぶことになったのですが、戦前のそれとは大きく異なりました。その根本に日本国憲法があり、「民主主義」という理念、そのシステム下、展開されたものでした。例えばクラス会で物事を決める時、意見が二分した時は挙手により、より多く挙手された意見が通り、少なかった意見は採用されませ

## 『小さき者の声』 社会福祉法人さざんか会 理事長 宮代 隆治

### おーぷん87号目次

P1 「小さき者の声」  
さざんか会 理事長 宮代隆治

P3 のまる管理者交代挨拶

P4 北総の里だより  
 ・北総育成園  
 ・笹川なすな工房

P7 各事業所冬だより  
 ・けいよう  
 ・カメラアハウス  
 ・のまる  
 ・ゆたか福祉苑  
 ・さざんかキッズ  
 ・とらのこキッズ  
 ・DD,のまのまホームズ

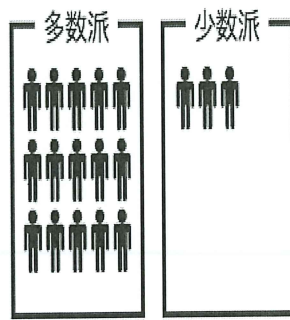
P11 のまる『自家発電装置』  
の入替えについて

P12 ランプ発



ん。それが民主主義と理解して  
いました。“多数決”です。

意見が分かれたとき、「では、  
多数決で」が合言葉のように登  
場しました。この方法がベスト  
であり、多数決は正しいのであ  
り誰も異存は挟めない、と。長く  
そう思っていたのですが、本当  
にそれで良かったのでしょうか  
何か、大切なことを忘れてはい  
ないか…。



“少数意見の尊重”が抜けてい  
ました。数の論理が罷り通り、少  
数者の主張、思いは排除され  
り、軽く見られたり。いつも、何  
処でも大きいことは良いことだ  
とばかりに“多数決”が闊歩し  
ていたのでは。

私にとっての民主主義はこの  
ように単純、軽薄、表面的なもの  
のようでした。少数者の意見と  
は…。それをどのように捉え、く  
み上げて行くのか。少数者の思

いを尊重する“民主主義”とは  
どういうものか。全く思いもし  
なかつたようです。

少なくとも、学校教育の中で  
この事について学ぶ機会はなか  
ったように思います。先述のよ  
うに親世代の教師がたくさんい  
て、この方々に“民主主義”を  
語る素地はなかつたのでは…。  
大日本帝国憲法下、皇国史観を  
注入され忠君愛国等での教育、  
社会の中に育った世代に“民主  
主義とは”を語ることは、多く  
の場合無理だつたと思います。

自身の子どもの頃を思えば、  
たまには言え父に殴られたこ  
とを覚えています。日頃、寡黙大  
人しい父でしたが、怒つたとき  
は手が出てしまいます。学校で  
も先生に殴られたことがありま  
した。中高生の頃、年に一度は叱  
責に鉄拳が伴いましたし、同様  
の場面を度々目撃させられました  
。生徒の校則違反、反抗的態度  
等がその因にあつたようです。

“鉄拳制裁”が当然視、是認さ  
れる世相でもあつたか。父と子、  
先生と生徒の関係を思うと、そ  
こに強者と弱者の力関係を想起  
します。強者が弱者に問答無用  
とばかり暴力を振るう、それが

罷り通る、それを許す社会の理  
不尽なあり様に憤りを覚えまし  
た。「俺たちが大人になって、社  
会の第一線で活躍する頃は、こ  
んな理不尽を無くさねば」と思  
つたものです。

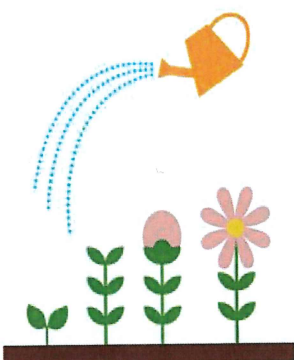
“基本的人権” “自由や平等”  
等が“民主主義”を形作る不可  
欠な理念でありシステムです。  
これらが社会のあらゆる場面で  
保障されないと抑圧や排除や分  
断等で私たちの生活が、否存在  
そのものが脅かされます。

さて、戦後76年を経て“民主  
主義”はどこまで育ち、社会に  
そして私達の生活に根付いてい  
ましようか。

この国に限らず、いま世界的中  
に暴力的な分断や排除の論理が  
暗い影を落としています。つい  
先日まで大統領という絶大な権  
力を持つ人の人種差別的言動が  
世相を騒がせましたし、市民を  
扇動するそれは議事堂乱入とい  
う法治を犯す前代未聞の出来事  
でした。一党独裁の大国は国体  
の護持、体制に反抗する市民を  
暴力で押さえつけ、言論や思想  
の自由を圧殺しています。力あ  
るもの、権力を手にしたものが  
好き勝手に振る舞い、小さきも

のや弱い立場のものは涙を強い  
られることになりました。

“民主主義”は棚から落ちて  
くる“ぼた餅”ではありません  
人類が長年の歴史を経て、安心  
安全に生存するために見出した  
ものです。“民主主義”に拘り  
たいと思います。人をして、上下  
や強者弱者等の関係からの因習  
や弊害を除去して、人権に依拠  
した自由や平等を謳歌したいも  
のです。そうでない、社会的弱  
者と言われる人たち、障がいの  
ある人も含めて“小さき者の声  
”が社会に反映されないと思  
います。福祉の世界で、真の共生社  
会実現が今日の課題と言われま  
すが、私たちの生活に“民主主  
義”が実感できなければそれは  
無理だと確信しています。落ち  
てくるのを待つのではなく、不  
断の努力で手に入れなければな  
らないものようです。そして、  
手塩にかけて育てなければ。



## 着任の挨拶



この度、のまる管理者を仰せつかりました岩佐龍哉と申します。どうぞよろしくお願い致します。

のまるは、入所支援・生活介護・短期入所・相談支援と複合的にサービスを提供する事業所なので、責任の重大さとプレッシャーを感じていますが、のまるに出勤すると利用者様が笑顔で話し掛けられること、気の知れた職員が居てくれる安心感、ご家族様からのアドバイスや何気ない会話など、皆様に支えられていることを実感しています。今まで、のまるで覚えてきたことの一つ一つを活かして、目の前の仕事に向き合っていくと行きたいと考えています。

のまるが2000年に開所され今年で21年となります。「Normalization(ノーマライゼ

ーション)」の思いから事業所名が決まりました。のまるの名称と込められた思い、障害及びそれを有する人達の存在は社会の中で当然であり、なんら不利益を蒙ることなく普通の生活を送られること、のまるはそんな当然な社会を実現する為の場所・活動・思いを持っている職員がいる事業所です。のまる開所時の思いを継続しながら、時代の変化に合わせた対応に取り組む事で安定した、のまるの運営に努めてまいります。

今後、入所施設という制度的な観点から、様々な課題が考えられます。高齢期を迎えた利用者様への医療提供にどう取り組むべきなのか、コロナ禍で制限を伴う生活や活動の中で、私たちの支援はどうあるのかを考え、一つ一つ試行錯誤を繰り返しながら、笑顔絶やさない支援環境作りに取り組みます。

私も皆様と一緒に苦しみ、悩み、もがいて、そして一緒に楽しみ、笑いあえる場所、「のまる」を目指していきたいと思っております。

## 退任の挨拶

平成27年7月けいよう管理者から、のまる管理者に異動になり、令和3年3月31日をもってさざんか会を退職しました。現在、再雇用でさざんか会本部にて主に採用活動等を担当しています。

平成23年7月1日からけいよう職員に採用されさざんか会のために勤務してまいりました。私は、スタッフのため、元気で、明るく、楽しい職場になるよう努めてまいりました。それは、利用者にとっても健康的で、明るく楽しく暮らせる・過ごせる場になると信じているからです。みんなが、元気に、明るく楽しく働いてくれなければ、私がいくら立派なことを言っても利用者さんにとって快適な生活環境を提供できるはずがありません。

さざんか会との付き合いは、昭和57年だったでしょうか、通所更生施設を建設するため沼南育成園に(現)宮代理事長が森職員と研修にいられたことがきっかけです。

私は、その時は、沼南育成園

(福・桐友学園)の所属でした。知識の深い宮代施設長に感銘を受けました。それ以降、さざんか会は、すごい法人だと認識していました。縁は異なるもの不思議なものです。

ご家族の高齢化と共に、利用者さんの「生きる・ともにしあわせになる」を誰が担うのだろうかの思いから、さざんか会の結束力を強めていく必要性を痛感しています。さざんか会だからできること、さざんか会でなければできないこと、今後も、可能性を信じさざんか会を支えます。常に感謝の念を持ち。



泉一成



# 北総の里だより

## 北総育成園

支援員 西村純菜

『利用者さんとご家族の  
思いを大切に』

今年、私は北総育成園に入職して6年目になります。昨年は新型コロナウイルスの集団感染があり、利用者さんとともに生活の変化を余儀なくされました。今まで当たり前前に過ごしてきた日常が一瞬で閉ざされ、不安の毎日があったことを今でも覚えています。

一向に終わりが見えないコロナ禍。園での行事や外泊も我慢の日々。そんな中「いつ帰れるの?」「皆に会いたい」と寂しい思いを伝えてくれる利用者さんに「コロナが落ち着くまで一緒に頑張りましょう」と見通しが

つかない曖昧な返答しかできず、胸が締め付けられる思いです。それでも「わかったー」と納得し、笑顔をくれる利用者さんの為に、今自分にできることを一杯やり遂げようと改めて思いました。

先日、ある女性利用者さんと、その方のお母様との電話面会に立ち会わせていただきました。普段は自分の思いをうまく伝えることが難しい方ですが、とても思いやりのある方。もう一年以上会えていない母との電話。「もしもし」と受話器から聞こえた母の温かい声。その瞬間、両手でぎゅっと受話器を握りしめ、一気にパツと明るくなる表情。「もしもし!」と三つ、こみ上げる嬉しそうな姿は忘れることができませぬ。母からの「元氣?」「一日でも早く会える日を楽しみにしているね」という言葉は、本人にとってこの不安な日々か

ら一気にゴールが見えたような「頑張ろう!」と思える、そんな安心する言葉に違いありません。



今まで経験したことがない、会いたい人に会えない日々。普段離れて暮らす分、こんなにも辛いことがあったでしょうか。電話という少しの時間ではありましたが、利用者さんの嬉しそうな様子。またその分、寂しさを我慢させてしまっているという利用者さんの奥にある気持ちを直接感じる事ができました。

利用者さん、保護者の皆さんの「会いたい」という繋がった

思いを今一度胸に刻み、安心して会える日まで、利用者の皆さんの隣で寄り添い、一緒に歩んで行きたいと思えます。

北総でも利用者さん職員共にワクチン接種も落ち着き、皆さん元気に過ごされています。少しずつですが前に進んでいると願い、笑顔で皆さんと手を取りあって乗り越えていきたいと思えます。





なかなか会えない中、  
北総育成園での取り組み

副園長 白樫 久子

長いコロナ禍で面会や帰宅もままならない中、北総ではご希望のご家族とお電話やオンライン面会を行っています。今までこうした経験がない方でも、少し戸惑いながらも目を輝かせてご家族との会話を楽しんでいらっしやいます。職員にとってもご家族とお話をしてその深い愛情と想いを伺える大切な機会です。

今までのように4月と11月の保護者職員懇談会や各行事、帰宅帰園対応等に、ご家族の皆様との関わりが持てないことは本当に辛く残念なことです。

少しでも北総の様子をお伝えするために、毎月のお知らせや居室だよりやお手紙や写真をお送りしています。これからも、利用者さんとご家族の思いを大切により良い支援を継続して参ります。



ご家族とのオンライン面会



今夏の  
活動風景



笹川なずな工房

施設長 荒井道貴

『リ・スタート』

最近ではコロナの感染者数も減少傾向にありますが、冬に向けて第6波が来るといふ予測もあり、まだまだ気を抜けない毎日が続きます。新型コロナウイルスは単なる病気というだけでなく、経済活動や我々の生活様式まで変えてしまいました。仕事や学校はリモート。旅行・外出は自粛。外食や買い物までも気を使わなくてはいけない生活になってしまいました。

当笹川なずな工房の活動も少かりです。一昨年までは、秋のシーズンには毎週イベント販売で大忙しでした。販売には保護者が交代でお手伝いに来てくれました。利用者も土曜日が製造日となりますので休む人はいません。それどころか早朝7時には自主的に登園をして作業に入る人もいます。職員もイベントでの売

り上げ状況が気になりボランティアで販売手伝いをしてくれました。特に毎年11月3日は、東庄町と旧山田町での2ヶ所の「ふれあい祭り」で1日に60万円を超える販売をしましたが、今考えると「よくあんなことができたな」と思う活動です。昨年と今年はすべてのイベントは中止となり、今は穏やかな秋を過ごしています。

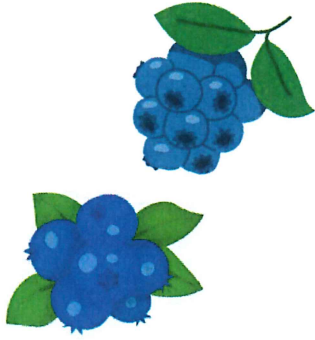


利用者も高齢化をし「いつまでも作業至上主義の活動を続けることはできない」と考えてきた時期でもあるので、ちょうど転換を図るにはよいタイミングだったのかもしれない。



当工房では2年前に「就労移行」事業を廃止して、「生活介護」事業を始めました。「生活介護」では、午前中は畑仕事をして、午後は環境整備や散歩、レクリエーション等を取り入れた活動をしてきました。元々障害が重い方も作業を中心に活動をしていため、レジャーを取り入れるにしても、作業という一本芯を通した上での多彩な活動をイメージしていたので、若干物足りなさを感じていた側面はありました。

幸いなことに、当施設の道路を挟んだ隣接地は利用者のご家族が所有していました。405坪の田んぼを今は使っていないので無償で貸していただけることになりました。そこで職員間で利用方法の検討を重ねました。



現在のブルーベリー畑が古くなり木の更新をしなくてはなりません。そこで新たにブルーベリーを植えてその管理を「生活介護」事業で行おうと計画を立てました。



お借りしている広大な土地

まずは8月に土建業者に依頼して客土を入れ整地しました。この広大な土地を畑にするためにはこれが大変です。近隣農家の指導を受け、堆肥やもみ殻を散布して土壌改良をします。元々が田んぼのため水はけをよくするために、自分たちで暗渠（あんきよ）排水の管を埋める作業をしています。また先日は旭農業高校の先生に来て頂いて、

実際のブルーベリーの植え方のレクチャーを受けました。



今は一部を畑としてラッキョウを植えて利用していますが、この冬シーズンには200本のブルーベリーを植える予定です。



畑として作物を植えました

冬には堆肥を播き、暑い夏に草取りをし、秋には剪定をしていきます。コツコツとこの小さな苗木を育て、実がなるためには5年以上の歳月がかかります。そしてジャムになるためにはさらに時間がかかります。未来のお客様に喜ばれるために、自分たちが出来ることで今日の日に汗を流す。そんな日々の積み重ねをして立派なブルーベリー畑になることを夢見ています。



皆で作業をしている様子

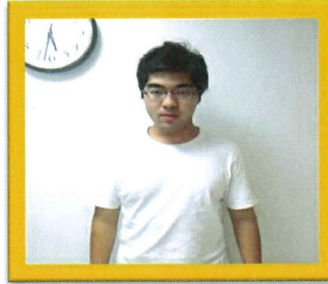




# けい

今年度入職した職員を皆  
さんにご紹介します☆

もりた かずき  
森田 一輝さん



- ① 好きな食べ物
- ② 趣味
- ③ 一言メッセージ!

- ① カレーライス(スパイスから作ります。)
  - ② 論文を読む事
  - ③ 福祉に関しては未経験で、日々新しく知ることが多く、1日1日を楽しく新鮮に感じております。
- 皆さん、宜しくお願います!

# よう

よこやま かのこ  
横山 鹿の子さん



- ① 梅干し。実家の味!
- ② 映画を見る事です。大きなスクリーンも好きですが単館シネマもオススメです
- ③ 出会いとご縁を大切に一生懸命頑張ります!

なら ぶとし  
奈良 太さん



- ① カレーライス(子供のころから好き)
- ② 音楽鑑賞、散歩
- ③ 以前はグループホームで勤務していました。笑顔で頑張ります!

# カメラリアハウス



★ カメラリアハウスに新しく3人の職員が加わりましたので紹介したいと思います。



- 宮川 泰子
- 秋田県
- おいしいきなこ揚げパンを揚げる研究

○意気込みを一言  
元気いっぱい頑張ります!



- 名前
- 出身地
- マイブームは?
- 意気込みを一言

- 伊藤 光子
- 福島県
- 梅塩麴づくり

○意気込みを一言  
皆さんと仲良く楽しく活動したいです。宜しく!



- 矢越 勇太
- 千葉県
- YouTube を観ること

○意気込みを一言  
精一杯頑張ります!



# のびね



新型コロナウイルスがまだまだ治まりを見せない中、のまるでは感染防止対策として、スタッフの抗原検査を月一回行っています。  
また、掃除や消毒なども引き続き、気を付けて行っています。いつまで続くのかわからないこの状況ですが、これからもスタッフ一同協力し合っ  
て切り抜けていきたいと思っています。  
それでは、今年度新しく五名の職員が加わりましたので紹介させていただきます。

- 1、名前 2、出身地 3、趣味（マイブーム） 4、ひとこと

## <新人職員>



(ごみ ゆうすけ)

- 1、五味 佑介
- 2、千葉県
- 3、草野球・ラーメン屋巡り
- 4、初心の気持ちで頑張っています。



(こみや ゆうか)

- 1、小宮 佑香
- 2、千葉県
- 3、料理をする事
- 4、4月から入職致しました。これから、宜しくお願い致します。



(かわさき あきなり)

- 1、川崎 昭成
- 2、千葉県
- 3、釣り・ゲーム
- 4、5月から入職致しました。前職の経験を活かし、早く仕事に慣れるよう精進致します。



(さいとう まみ)

- 1、齊藤 真美
- 2、千葉県
- 3、スノーボード
- 4、6月から入職致しました。まだ不慣れな所がありますが利用者様が安心して生活が送れるよう精一杯頑張っています。



(ほその あやめ)

- 1、細野 あやめ
- 2、千葉県
- 3、パン作り・お笑い、海外ドラマ、アニメ、YouTube を観る事
- 4、8月下旬に入職致しました。健康に気をつけながら皆さんと楽しく過ごしていきたいと思ひます。





# ゆたか福祉苑

今年度、ゆたか福祉苑では新たに6名の職員をお迎えしましたので、紹介させていただきます!!

質問は3つ!

- ①名前
- ②座右の銘
- ③コロナが収まったらどこへ行きたい?



- ① 振蕎 寿朗
- ② 百聞は一見に如かず
- ③ 居酒屋



- ① 端 智弘
- ② 花には蝶 ウンコには蠅
- ③ 家族旅行



- ① 岩佐 亜美
- ② しっかり自分と向き合う
- ③ 掛川花鳥園



- ① 瀧浅 寿和子
- ② 艱難汝を玉にす
- ③ 実家



- ① 水間 秀樹
- ② 因果応報
- ③ 温泉旅行



- ① 菅藤 萌弘
- ② 一期一会
- ③ 福岡県



# さざんかキッズ

7年目を迎えたさざんかキッズ。今年度から加わった5名のフレッシュな仲間を紹介します。子ども達と一緒にパワーいっぱい、笑顔いっぱい、笑顔いっぱい、笑顔いっぴいのさざんかキッズを目指してまいります！



①鷹野 豪 (たかの ごう)  
②山梨県 ③朝起きること  
④明るく楽しいリハビリを  
目指します。



①名前  
②出身地  
③苦手なもの・こと  
④ひとこと



①石井 ゆか (いしい ゆか)  
②船橋市 ③ゴキブリ  
④お子様達1人1人寄り添い  
笑顔を引き出していけるよう  
頑張ります！



①河野 由侑 (こうの ゆうゆ)  
②一宮町 ③おばけ  
④子どもたちの成長をたくさん  
みつけていきたいです。



①西田 実来 (にしだ みく)  
②大阪府高槻市 ③虫  
④子ども達と一緒に成長できるよ  
うに頑張ります！！



①石田 友瑞 (いしだ ゆず)  
②市川市 ③ホラー・生魚  
④何事も学ぶ姿勢で頑張りま  
す！！



①添田 まつり  
③映画鑑賞  
③子ども達の笑  
顔に毎日癒されて  
います！！

①鈴木 梨穂  
②アニメ鑑賞  
③先輩方のような保  
育者になれるように  
頑張ります！！



とらのこキッズ

①名前  
②マイブーム  
③ひとこと

～新人職員紹介～



令和2年度10月入職  
①坂巻 優衣  
②音楽を聴く事  
③これからも子ども  
達と沢山“たのしい”  
を作っていけるよう  
頑張ります！！

①石橋 慶奈  
②YouTubeとtiktok  
を見る事  
③色々経験しながら  
頑張っていきますの  
でよろしくお願いし  
ます！！



新年度が始まり、約半年が過ぎようとしています。新人職員4名、さざんかキッズからの異動職員2名森田佐知子、垣田かほると一緒に毎日みんなとらのこキッズを盛り上げていきます！！



## ホーム便り

自粛生活でまだまだ我慢の続く今日この頃ですが皆様、いかがお過ごしでしょうか？

我慢ばかりで明るい

話題もないと思いきや・・・

この度、のまのまホームズに新しい風が入ってまいりましたー！！

そんな今回のホーム便りのはのまのまホームズの新しい職員について質問形式で紹介をしていきます



なかうえたけと  
中上岳人さん



好きなこと

登山、キャンプ

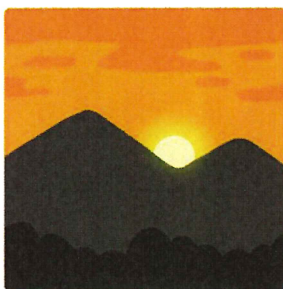
・コロナが収まったら

やりたいこと

テントを担いでのんびり登山

・仕事への抱負

入居者様の気持ちになるべく理解して、負担をかけずに幸せな日々を送って頂ける力を身に着けたいです。



『非常用自家発電装置の入れ替え』

のまる 岩佐龍哉

令和3年2月のまるにて船橋市社会福祉施設整備補助制度の申請・大規模修繕（自家発電設備整備）を実施しました。

のまるは、災害発生時における要援護者の受け入れに関する協定を船橋市と取り交わしている事業所で、のまるには船橋市危機管理課と繋がる防災無線の設置、災害発生時に障害を持った方の避難受入など拠点の機能を備えた事業所となります。

災害発生時に電力供給が停止すると、消防設備や通信設備が機能しなくなる恐れがあります。今回の自家発電装置の入れ替えで安定した電力の供給を行い、安心して災害発生時の施設運営が行えることにより、自家電源装置は有効な設備と考えられます。また、今回の非常用自家発電装置はディーゼ

ルエンジンにて発電します。軽油の補充を行う事で持続した電力の確保が可能となります。

自家発電装置の設置後、台風による強風で車方町や小室町地域に2回停電が発生しましたが、非常発電機がオートで稼働し職員の間もなく安定した環境を得る事が出来ました。大雨による冠水や土砂災害など、最近は何が一つの事態がよく発生していると感じています。事前の準備や災害を想定した訓練や、設備を整えることで何かあった時に安心して行動が出来るのですが、のまるの強みとなっております。

今後ご利用者様・地域の皆様に貢献できる事業所でありたいと考えています。

岩佐龍哉





# 魔法のランプ

こんにちは。いつもご拝読頂きまして、厚く御礼を申し上げます。

さて、この度はご契約者各位におかれましては、当事業所の休止という形を招いてしまい、大変ご迷惑をお掛け致しましたこと、深くお詫び申し上げます。

この度、コロナウィルス感染症拡大の影響や登録ヘルパーさんの減少などの理由から業績が悪化していたことを受け、断腸の思いですが、当面の間、全て（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、移動支援、宿泊サービス、福祉有償運送）の事業を「休止」と決断致しました。「地域生活支援」の分野において、皆様にはとても重要で欠かせないものと認識しているのですが、余力が無く、現在の運営状態では居られなくなり苦渋の決断で、このような結果を招いてしまいました。

思い返せば、当事業所も平成

11年10月に皆様の地域生活を支援するという名目で、船橋市松が丘の一軒家をお借りしてスタートいたしました。当初は、常勤スタッフ1名と非常勤スタッフ数名でスタートしていたと記憶しております。また制度も確立していない中でのスタートで、皆様からのニーズをお聞きしながら、日中預かりや夏休みの集団でのお出掛けを企画して運営をしておりました。私、山田が平成16年4月に当事業所に異動になった頃に段々と法律が確立し、外出支援（余暇支援）が認められるようになってきました。そして、平成18年に旧障害者自立支援法（現障害者総合支援法）が制定され、居宅介護事業などが活発化したのを覚えております。当事業所は、松が丘↓習志野台1丁目↓習志野台4丁目↓薬田台5丁目↓一軒家と引っ越しを繰り返して今現在の地に落ち着いた矢先だったのですが…。

ランプでの思い出は、施設に勤

めていた頃は、複数名の方をお連れして、外出していました。それがマンツーマンでの外出支援、更にはご本人様にとって楽しいことを傍で支援するので、常に皆様の楽しそうな様子を体感できたのは、最高に良かった思い出です。電車やバスなどを利用して東京や遠方に繰り出す方、博物館やテーマパークに行かれる方、マンガ喫茶に入られる方、プールや銭湯を楽しまれる方、カラオケを楽しまれる方様々でした。ある程度の路線図を頭の中に叩き込んだことも自慢の一つです。自分が出不精なもので、利用者様を通して、非日常の体験を沢山させて頂きました。ありがとうございます。施設ではあまり体験しなかった一般社会との繋がりもこのサービを通して、いろいろと考えさせられました。ランプのサービに慣れない方は、街中で突然大きな声を出してしまい、その際は静かにしていただくようお願いしていました。しかし、段々と私自

身が経験を積み慣れてくると、周囲の方々に理解して頂くしかなーいと思いはじめ、形だけ、声掛けをしていたのを思い出します。どうしても静かにしていただけない場合は、途中下車をして、ご本人様が落ち着くのを待った記憶もございます。

これだけ、皆様にとつての楽しみを奪ってしまうのは、大変申し訳ないと思っております。

必ず再興を遂げ、また新たな「魔法のランプ」を再開できるように邁進して参ります。何時になるかわかりませんが、それまでお待ちください。

また、この「ランプ発」も今回で一区切りとなります。長い間、ご拝読下さり、誠に感謝申し上げます。

私を含め、ランプのスタッフは法人内の他事業所に異動となります。今後もし何卒よろしくお願ひ申し上げます。（山田）

